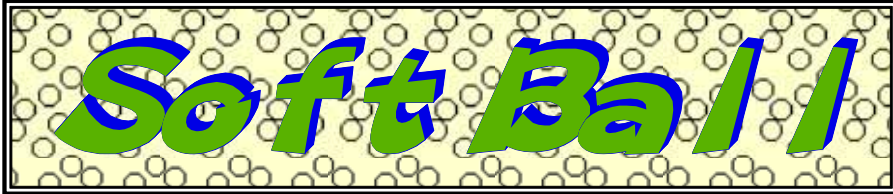


平成25年
第1号
通巻21号



発行者・編集者
さいたま市ソフトボール協会
市ソ協会長 和田 隆雄
広報委員長 田口 秀夫

**平成24年度・評議員会開催
創立10周年記念式典 大盛會に挙行**

評 議 員 会

2月23日(土)さいたま共済会館で、市ソ協・平成24年度・評議員会が出席者139名、委任者27名で開催された。

和田会長の『お陰様で創立10周年、節目の評議員会でございます。来賓に顧問の田中一弘様、参与の鈴木彰様、(株)ルイスビル・スラッガー・ジャパンの野沢茂様、同じく板屋莉奈様、ナガセケンコー(株)の橋本茂樹様、中央支部顧問の生方博志様、記念式典にはさいたま市の清水勇人市長、市体育協会の北清治会長に御出席をいただいております。又、ミスユニバース埼玉特別賞の石室屋由梨乃さんをお呼びしております。慎重ななかにも迅速なご審議をお願い申し上げます』と開会の挨拶があった。



[開会挨拶・和田会長]

協会規約により会長が議長を務め、審議に入った。

- ①平成24年度事業報告(抜粋)
 - ・理事会・常任理事会を毎月、各委員会も必要に応じ開催し、各事業の事前打合せ、準備、諸般の問題等の検討を行なった。
 - ・市、県上部各大会の錚々たる実績に感謝し、今後20年・50年・100年目へと継続したい。
 - ②平成24年度決算報告(抜粋)
 - ・大会費が赤字となった：大会に関わる人件費の増大、天候不順による試合数の増大等が主な原因。
 - ・大会出場補助費も赤字となった：上部大会出場チームが多数となり大活躍し、祝金等の嬉しい見込み違いであった。
 - ③平成25年度事業計画
 - ・各種委員会、登録・認定会・講習会・春季大会・市民体育大会が提案された。日程、場所の変更事項、結果等については、市ソ協のホームページに掲載するので参照されたい。
 - ④平成25年度予算(抜粋)
 - ・総額8,431,279円、前年より約20万円減額。
 - ・大会の人件費等を見直し、少人数制での試合運営に臨みたい。
- 以上①～④について評議員の賛成を以て承認された。次に、
- ⑤平成25年度役員：24年度の役員副委員長の一部変更あり。
 - ⑥協会規約・細則・事務分担表：特に改正なし。との報告があり、
 - ⑦平成24年度市民体育大会最優秀選手(別記)の表彰があった。

記 念 式 典

評議員会終了後会場を移動し、記念式典を浅見 茂理事長の開式のこたば、和田隆雄会長の式辞で式典の開式となった。

『本日ここにさいたま市の清水市長、さいたま市体育協会の北会長をご来賓にお迎えし、さいたま市ソフトボール協会10周年記念式典を挙行できますことは喜びに耐えません。』

10年前の3市合併によるさいたま市誕生の折りには、旧浦和・与野のソフトボール団体から、浦和地方裁判所に訴訟が提起され、各市のソフトボール協会は分裂崩壊の危機にありました。

ここにご列席いただいている生方博志先生、鈴木 彰先生をはじめとする先人のご指導をいただき、田中一弘先生が中心となり、全てを受け入れる新たな団体として本協会を創立し、ソフトボール愛好者がひとつにまとまりました。

今日、300を超えるチームが登録し、会員6,200人が年間1,000試合以上を楽しむ協会に発展したことは、240人の役員の方々、300人を超える審判員が労を惜しまず、現場で汗をかいていただいているお陰であり、この場をお借りして心からお礼申し上げます』(紙面の都合により要点のみ掲載しました)

お忙しい中ご来賓として、清水勇人さいたま市長がお見えになり下記の祝辞を述べられました。(要旨)



[清水勇人市長]

『創立10周年おめでとうございます。ソフトボールは小学生からハイシニアまで老若男女、中学生高校生と楽しめる幅広い生涯スポーツです。誕生時の分裂危機、その後の幾多の障害を役員会員が力を合わせ、一つひとつ乗り越え今ここに一つにまとまり、更には内外に誇れる協会となりました。ソフトボールでさいたま市を元気にして下さい。強い「きずな」で会員の方々の活躍を期待致します。さいたま市ソフトボール協会のますますの発展をお祈り致します』

引続き初代会長を勤められ、さいたま市ソフトボール協会を創立して下さった、田中一弘顧問から祝辞をいただきました。

『ソフトボールのチーム・審判・記録員は、日本ソフトボール協会に登録しなければ活動できません、登録は支部を通さねばなりません。10年前、旧浦和・与野が県南支部より除名され裁判沙汰になりました。登録の期限は迫り、訴えの判断は長びき、気持ちに余裕のない日が続き、抗議電話に説明する等苦労が続きました。しかし、他の役員と共に「新設協会を・・・」の熱意が実り、さいたま市ソフトボール協会が唯一の協会と認められ県南支部を通して登録を済ませる事ができました。』



[田中一弘顧問]

協会が滞りなく運営されるようになった時、次の方に会長職を譲りました。今では全国でも有数の協会に成長したことは言葉に表せぬ感慨深いものです。今後、10年・20年と立派に発展、活躍することをお祈り致します』と当時の状況を述べられました。

続いて来賓の紹介と「ナガセケンコー(株)」様、「内外ゴム(株)」様からの創立10周年を祝う祝電が披露された。表彰状・感謝状の授与で、永年に亘り市ソ協発展のため功労のあった個人・チーム・県庁クラブを表彰、協会旗・シンボルマークを作成していただいた方に感謝状の贈呈が行なわれ、和田会長より出崎英世氏(壮年委員長など歴任)が代表で受賞、代表謝辞では永田喜雄副会長が個人・チームを代表し謝辞を述べた。



[10周年記念で表彰された個人及びチームの代表者]

祝 賀 会

評議員会・記念式典も滞りなく終了し、「祝賀会」を開会。永田副会長が開会のことば、本日3回目の和田会長の挨拶に続き、30数年埼玉県ソフトボール協会の理事長を勤められ、現在中央支部の生方博志顧問に式辞を述べていただいた。

『県ソ協の土屋義彦会長時代、(故)会長は埼玉県を日本一のソフトボール県にする大変な情熱を燃やされ、ソフトボールの普及強化に尽力されました。選手、役員全員それに応え一生懸命プレーしました。』

今日再びソフトボール界にあの時のような息吹を、そして熱意をもって活躍する若い方、新しい人の参加を希望します』と熱く語っていただきました。



〔生方博司支部顧問〕

活躍チーム紹介で、浦和SG・佐藤和昭投手が全日本シニアの全国大会で優勝された時の思い出を、3月に佐賀県で開催される小学生男子の全国大会に出場する、太陽フェニックス・千葉典夫代表が意気込みを述べ、参会者全員で大会での健闘のエールを送った。



【祝賀会に参加いただいた皆さん】

和やかな雰囲気での歓談が進行し、宴もたけなわであったが「中締め」は県ソ協・荒川健二郎強化委員長、「締め」は石黒 覚市ソ協監事が発声された。

閉会の言葉は～高齢化、世代交代の熱い訴え～を田中 勉市ソ協副会長が、

『さいたま市ソ協10年が過ぎました。次の20年を目指すには新しい人を育てなければなりません。具体例は、記録の活動は岩槻区の記録員に全面的に頼っている現状です。又、役員・審判員も年々高齢化し人手も不足しております。近い将来、有資格者、後方支援の役員の不足が目に見えている現状を危惧しております。辛口ですが、この様な憂慮すべき問題には皆で真剣に立ち向かい、新しい人、後継者を育てようではありませんか。』と閉会宣言し、全ての行事が終了した。

【評議員会ご出席の来賓】



〔写真左より、鈴木 彰顧問、(株)ルイスビル・スラッガー・ジャパン 野沢 茂様・板屋莉奈様、生方博司顧問、ナガセケンコー橋本茂樹様〕



〔協会役員、左より白島一芳副会長、浅見 茂理事長、永田喜雄副会長、田中 勉副会長、田中一弘顧問〕

【表彰状・感謝状受賞者】

〔個人表彰〕

永井 洋三・芝崎 博司・北村 勇
 館野 藤助・高橋 興雄・大久保 汎
 村山 彰・大木 千平・杉本 長治
 野中 新介・本間 幸次・斎藤 豊
 永田 喜雄・山田 剛・丸山 寛
 出崎 英世・藤原 誠・船戸 清
 川浦 信二・木内 良一・石井 一憲
 新井 忠・浜出 均・笹川 康好
 以上24名(敬称略)

〔チーム表彰〕

浦和SG(全国大会優勝)、土合小PTAソフトボール、大東小PTAソフトボール同好会、URAWAS.B.C、さいたまクラブ、太陽フェニックス 以上6チーム

〔特別表彰〕

埼玉県庁クラブ

〔感謝状〕

(シンボルマーク考案)

吹留 広矢様
 (与野ファイターズ監督)
 石井けい子様
 (デザイナー)



(協会旗考案)

山内 珠里様 →
 (太陽フェニックス・山内投手の母親)

◎素晴らしい作品を応募していただきありがとうございました。



審判員伝達講習会

日時：平成25年3月10日9時15分～
 会場：大宮工業高等学校 記念館・校庭
 参加：ルール・実技共 参加者約100名

開講式の挨拶で和田会長は『審判員の皆さん、年間1・2回は是非出席をお願いします』と述べ、白島副会長、山内審判委員長挨拶後、ルール説明に入り岡田副審判委員長がプロジェクターを使用し解説した。



〔解説・岡田審判副委員長〕

受講生の皆さんより、「非常に解りやすく勉強になった」との感想があった。

午後の実技は強風に見舞われ砂埃があまりにも酷いので1時間程度で中止し、残りの実技講習については地区毎に責任者が指導することにして残念ながら閉講となった。今年度の主なルール改正点は「故意四球」と「コールドゲームで、3回15点、4回10点」が採用になったと説明があった。



〔記念館でのルール研修会〕



〔強風の中での実技講習〕

平成24年度市民体育大会結果

【一般男子1部】 [24チーム]

11月25日 荒川総合運動公園 F面

新曲輪クレインズ	0 2 0 1 2	5
上木崎小PTAソフト	2 2 0 0 0	4

(新曲輪) 阿部隼輔・渡辺輝吉・佐藤 駿
 (上木崎) 吉田友洋・中塚憲介
 (二塁打) 大塚 実・渡辺輝吉[新曲輪]
 (MVP) 阿部隼輔[新曲輪]
 (審判) (球) 矢作省治 (一) 吉村大菊
 (二) 丸田 豊 (三) 下薄清孝
 (記録) 島崎恒夫 (戦評) 本間幸次
 (広報) 友光節夫

新曲輪クレインズ、接戦を制し 6年ぶり2度目の優勝!!

新曲輪クレインズ、2点を追う4回一死三塁・一塁から二塁ゴロの間に1点、5回一死三塁・二塁から2つの死球と斉藤の犠飛で2点を取り逆転。

上木崎小PTAソフトは1回・2回と得点を重ねるが新曲輪阿部・渡辺の投手リレーに抑えられ惜敗。



【2度目の優勝・新曲輪クレインズ】

新曲輪・古屋博崇監督談話

◎ありがとうございました。
 正直 春季大会で悔しい思いをしたので、秋に賭けていました。リーグ戦から苦しい戦いでしたが、なんとか勝ち進んで優勝することが出来ました。投手の阿部が頑張ってくれたのでMVP。また来年の春も優勝目指して、この冬も練習に励みます。



【準優勝の上木崎小PTAソフト】

【準決勝戦結果】

- 新曲輪クレインズ 2-0 別所クラブ
- 上木崎小PTAソフト 3-1 土合小PTAソフト

【一般男子2部】 [48チーム]

11月25日 荒川総合運動公園 D面

大谷口PTAソフト	1 0 0 0 0	1
岩小クラブ	0 0 3 0 x	3

(大谷) 黒木直人・四之宮康弘・小川和弘
 (岩小ク) 横井時彦・岡本浩一
 (三塁打) 安斉 淳 [岩小ク]
 (二塁打) 安斉 淳 [岩小ク] 瀬川高徳
 難波勝哉・黒木直人[大谷口]
 (MVP) 横井時彦[岩小クラブ]
 (審判) (球) 会田教之 (一) 松浦 誠
 (二) 小林守信 (三) 小野俊英
 (記録) 野中新介 (戦評) 本間幸次
 (広報) 神長伊佐男

岩小クラブ 接戦を制し 逆転、初優勝!!!

岩小クラブ、1点を追う3回安斉の三塁打を足掛かりに酒井の右翼適時打で同点、2つの捕逸で2点を取り逆転。

大谷口PTAソフト、初回一死二塁から瀬川の二塁打で先制、その後は岩小・横井投手に抑えられた。



【逆転初優勝の岩小クラブ】

岩小クラブ・加藤 享監督談話

◎全員で試合をしました。一人欠けても勝てません。試合に出られない人も応援には必ず来ます。今回の初優勝は大変嬉しく思っています。来年も優勝を目指し頑張ります。



【準優勝の大谷口PTAソフト】

【準決勝戦結果】

- 岩小クラブ 6-3 上木崎小PTAソフト
- 大谷口PTAソフト 15-4 原山小PTAソフト

【一般男子3部】 [51チーム]

11月25日 荒川総合運動公園 E面

三橋6丁目ソフト	2 0 0 1	3
バトラーズ	1 0 5 0	6

(三橋6) 瀬田和也・福野功一・柳 宋秀
 (バトラ) 石井 達・伊東大輔
 (二塁打) 瀬田和也[三橋6]
 (MVP) 石井 達[バトラーズ]
 (審判) (球) 大木千平 (一) 久保田敬之
 (二) 浅村庸一 (三) 田中昌幸
 (記録) 清水智衣子 (戦評) 本間幸次
 (広報) 斎藤 豊

バトラーズ、追いあげる三橋 6丁目を振り切り初優勝!!



【初優勝のバトラーズ】

バトラーズ、1点を追う3回2四球と榎本・伊東の適時打で5点を取り逆転優勝。

三橋6丁目ソフトは初回、瀬田の二塁打を関戸の右翼線の安打で2点先制、3回に逆転されたが4回金谷の三遊間安打で1点を返すも捉えきれず涙を飲んだ。

バトラーズ・山田 貢監督談話

◎中々 春秋通じて良い成績が残せなかったのですが、やっと今シーズンは春季大会準優勝、市民大会で優勝することが出来ました。ありがとうございました。



【準優勝の三橋6丁目チーム】

【準決勝戦結果】

- バトラーズ 14-0 東岩槻レッズ
- 三橋6丁目ソフト 9-8 南浦和小PTAソフト

【壮年の部】 [22チーム]

11月23日 北部工業団地記念公園 C面

城北小ソフトクラブ	0 2 3 0	5
高砂小PTAソフト	0 2 3 1x	6

(城北小) 原口信行ー石川峰生
 (高砂小) 本橋孝則ー柳沢孝之
 (本塁打) 原口信行 [城] 内田桂司 [高]
 (MVP) 柳沢孝之 [高砂小PTAソフト]
 (審判) (球) 並木 徹 (一) 田中昌幸
 (二) 中川 勉 (三) 片山 茂
 (記録) 杉木英生 (戦評) 本間幸次
 (広報) 斎藤 豊

高砂小PTAが逆転 優勝!!!



【壮年の部優勝・高砂小PTAソフト】

高砂小PTAソフトは2回内田の本塁打と二死二塁から山崎の安打で計2点、3点を追う3回失策で出塁を送り柳澤の中前打、一死二塁・一塁から西林の中前打と失策で3点と同点にし、4回一死三塁・二塁から柳澤の2本目の適時打により逆転サヨナラ優勝。

城北小ソフトクラブは2回原田の中前打を送り、野選で2点を先制、同点で迎えた3回会見・前島の連打を原口の本塁打で3点を取りリードするも持ちこたえられず逆転され惜敗。

高砂小PTAソフト・肥沼信行監督

◎チーム全員の力が一つになり、春・秋と連覇することが出来ました。まだまだ発展途上のチームですので、この優勝に満足せず、練習してゆく所存です。



【準優勝の城北小ソフトクラブ】

【準決勝戦結果】

- 高砂小PTAソフト 11ー1 仲本小PTAソフト
- 城北小ソフトクラブ 6ー3 マツハシ4 9ers

【実年の部】 [22チーム]

11月18日 荒川総合運動公園 D面

さいたまクラブ	0 0 4 2 0	6
木崎小PTAソフト	2 1 1 1 0	5

(さいく) 及川昭三ー高橋一弘
 (木崎小) 吉嶺一富ー横塚 互
 (三塁打) 吉嶺一富②
 (二塁打) 嶋方 守・金森達郎 [さいく]
 田村祐一 [木崎小]
 (MVP) 山崎二三夫 [さいたまクラブ]
 (審判) (球) 樋口博司 (一) 芝崎博司
 (二) 片山 茂 (三) 大久保汎
 (記録) 杉木英生 (戦評) 本間幸次
 (広報) 斎藤 豊

さいたまクラブ逆転で
秋・2連覇!!!

さいたまクラブ、3点を追う3回一死二塁・一塁から金森の二塁打、福島の一・二塁突破安打で4点を取り逆転、同点とされた4回、3連打で2点を取り突き放した。

木崎小PTAソフトは1回吉嶺の三塁打・横塚の中前打で2点先制。2回三木・星野の連打で1点と点数を広げたが逆転を許し、3回で同点としたが4回に逆転され、1点を取り追いつくも届かず惜敗。



【秋2連覇のさいたまクラブ】

さいたまクラブ・及川昭三監督

◎強打者の多いメンバーですが、選手同士が信頼し合い、繋ぐバッティングに徹したのが勝因で、監督の指示通り全員一つになりこれからも勝ち進んでいきたいと思えます。



【準優勝の木崎小PTAソフト】

【準決勝戦結果】

- さいたまクラブ 22ー4 城北小MC
- 木崎小PTAソフト 9ー3 南浦和小PTAソフト

【シニアの部】 [22チーム]

11月18日 荒川総合運動公園 E面

大宮レインボーズ	0 0 0 0 0	0
浦和 S G	0 3 0 0 4x	7

(大宮レ) 小美野輝雄ー中村允昭
 (浦和S) 佐藤和昭ー長橋信行
 (MVP) 大山昭治 [浦和SG]
 (審判) (球) 三田明夫 (一) 国井真顕
 (二) 波村 章 (三) 横松伸二
 (記録・戦評) 本間幸次
 (広報) 神長伊佐男

浦和SG・佐藤投手完封勝利
春・秋通算14連覇!!!

浦和SG、3回一死三塁・二塁から敵失で1点、内野ゴロの間に1点、重盗で1点と先制。5回にも無死一塁から3連打で2点、小林の2点安打で7点目を挙げワールド勝ち。

大宮レインボーズは佐藤投手の前に無安打無得点試合を喫した。



【14連覇・常勝軍団の浦和SG】



【賞状・優勝旗・盾・副賞の授与式】

浦和SG・新野一男監督

◎試合に出る人、試合に出ていない人全員が、一つの目標に向かった結果が優勝に繋がったまとまりのあるチームです。



【準優勝の大宮レインボーズ】

【準決勝戦結果】

- 大宮レインボーズ 6ー4 野野ファイターズ
- 浦和SG 9ー3 日進パワーズ

【ハイシニアの部】 [7チーム]

11月25日 荒川総合運動公園 C面

さいたま65	0000102	3
大宮レインボーズ	0100000	1

(さい) 大戸和憲-熊田信秋
 (大宮) 小美野輝雄-中村允昭
 (三塁打) 小池義一 [さい]
 (二塁打) 佐々木岑 [さい]
 (MVP) 大戸和憲 [さいたま65]
 (審判) (球) 西坂富男 (一) 大野相善
 (二) 玉谷隆次 (三) 小野進次郎
 (記録) 杉木英生 (戦評) 本間幸次
 (広報) 田口秀夫

さいたま65、春・秋連覇！！

さいたま65は1点を追う5回二死二塁から小池の三塁打で同点、7回二死一塁から佐々木・熊田の連続安打により2点を取り逆転。

大宮レインボーズは2回一死二塁から松元の右前打で1点先制、以降さいたま・大戸投手の前に1安打に抑えられた。

さいたま65・斉藤昭男監督談話

◎きびしい試合でしたが、各々が自信を持ち、チーム一丸となって優勝を勝ち取りました。



【春・秋優勝のさいたま65】



『さいたま65』優勝バッテリー
 (左) 熊田捕手・(右) 大戸投手

【ハイシニア・リーグ戦結果】

[Aブロック]

○大宮レインボーズ 10-0 城北小シニアスターズ
 ◎大宮レインボーズ 7-2 FSCC ッカリーズ

○FSCC ッカリーズ 12-2 城北小シニアスターズ

[Bブロック]

○浦和SG 18-3 ハリケーン

○さいたま65 14-1 原山小PTAソフトB

○原山小PTAソフトB 10-4 ハリケーン

◎さいたま65 6-3 浦和SG

* A・Bブロックで勝ち上がり決勝へ

【レディースの部】 [11チーム]

11月25日 荒川総合運動公園 C面

Team all	021000	3
与野レンジャーズ	200000	2

(Te) 小林波奈子-清水美和子
 (与野) 今井菜月-上村沙織
 (二塁打) 菊崎幸恵 [Team]
 (MVP) 小林波奈子 [Team all]
 (審判) (球) 大野相善 (一) 高橋興雄
 (二) 玉谷隆次 (三) 大久保汎
 (記録) 杉本長治 (戦評) 本間幸次
 (広報) 大塚妙子

Team all
 逆転で秋初優勝！！



【秋初優勝のTeam all】

Team all、2点を追う2回4連続四死球で2点を取り同点、3回一死から菊崎の二塁打・小林的左前打で1点を取り逆転し貴重な1点を守りきった。

与野レンジャーズは1回3安打と敵失で2点を先制、Team all小林投手に3回からの毎回安打を生かすことが出来ず僅差の緊迫した試合であった。

Team all・岡田浩彦監督談話

◎ケガもなく皆で頑張ったお陰です。



『Team all』優勝バッテリー
 (左) 小林投手・(右) 清水捕手



【準優勝の与野レンジャーズ】

【高校生女子の部】 [16チーム]

第6回さいたま市ソフトボール協会会長旗争奪高校生大会

11月24日 荒川総合運動公園

昨年同様初日が天候不良で中止になり、一日に短縮し1・2・3部の3ブロックに分かれトーナメント戦を実施した。2チームは合同チームでの参加となった。

【1部】

優勝 伊奈学園総合高等学校
 準優勝 川口総合高等学校

【中学生女子の部】 [34チーム]

さいたま市中学校新人体育大会

9月29日～10月4日まで5日間に渡り、荒川総合・浦和総合運動場軟式球場で開催され、春里中学が優勝し4位までの学校が県大会に出場した。

(県大会成績は別項に掲載)

[準決勝結果]

大谷場中学校 9-2 植竹中学校
 春里中学校 1-0 大久保中学校

[決勝結果]

春里中学校 4-2 大谷場中学校

春里中新人戦2年連続優勝！！



【新人戦2連勝の春里中学校】

24年度さいたま市冬季大会

25年3月17日 荒川総合運動公園 D面

植竹中学校	00000101	2
大久保中学校	00000010	1

(植 竹) 大沢真琴-室井萌那

(大久保) 信田沙南-山本真由

(本塁打) 北居梓奈乃 [植竹中]

植竹中学校冬季大会初優勝！！

植竹中は北居の本塁打で先制するも、7回に追いつかれタイブレーカーに入り敵失で挙げた1点を守り優勝。

(春里中は関東大会出場のため不参加)



【冬季大会初優勝の植竹中学校】

【小学生男子の部】 [19チーム]

11月11日 荒川総合運動公園 A面

さくらフェニックス	0 0 0 0 0 0	0
太陽フェニックス	0 0 0 2 0 x	2

(さく) 合田圭佑一平山楓太
 (太陽) 山内惟久夏一萩原怜仁
 (三塁打) 上敷領和仁嗣 [太陽]
 (二塁打) 萩原怜仁 [太陽]
 (MVP) 萩原怜仁 [太陽フェニックス]
 (審判) (球) 浅野庄吾 (一) 横畑邦男
 (二) 亀谷清司 (三) 中澤明男
 (記録) 杉木英生 (選評) 本間幸次
 (広報) 榎本靖二

太陽フェニックス、秋6連覇
 春秋併せて10連覇の快学

太陽フェニックスは無得点で迎えた4回裏上敷領の本塁打、萩原の二塁打を関口の左前打で還し2点を取り、決勝点となった。さくらフェニックスは1回・2回の出塁の好機を生かすことが出来ず、太陽・山内投手の前に3安打完封を喫した。手に汗を握る緊迫した試合であった。



【10度目の優勝・太陽フェニックス】



【準優勝・さくらフェニックス】

【小学生女子の部】 [3チーム]

指扇ライオンズ女子抽選勝ち
 春秋連覇で6度目の優勝！！

小学生女子の部は参加が3チームなのでリーグ戦のみ実施した。全チーム1勝1敗で同率のため、大会規定により抽選を行い指扇ライオンズが優勝となった。

【最終結果】

優勝 指扇ライオンズ女子
 準優勝 沼影ソフトボール少年団
 第3位 常盤スポーツ少年団

11月3日 北部工業団地記念公園 C面
 [第1試合] 指扇ライオンズ女子 1勝

沼影ソフトボール少年団	1 0 4 0 0	5
指扇ライオンズ女子	1 2 0 1 2	6

(沼影) 三須春花一中澤玲香
 (指扇) 鈴木梨奈一田波雛子
 (二塁打) 緑川愛未・三須春花・中澤玲香以上 [沼影ソフト]
 (審判) (球) 高橋徳右エ門 (一) 吉村大菊
 (二) 船山 純 (三) 脇山竜二
 (記録・戦評) 本間幸次 (広報) 松本文夫
 指扇は1・2回に敵失などで3点を取ったが、3回沼影に無死二・一塁から中澤・三須の連続二塁打とスクイズで一挙4点取られ逆転を許すも、5回振り逃げの間に1点、上平の右前適時打で再逆転勝利。
 [第2試合] 常盤スポーツ少年団 1勝

常盤スポーツ少年団	1 2 1 4 2	10
指扇ライオンズ女子	1 0 0 0 0	1

(常盤) 姫島 響一石井萌々夏
 (指扇) 上平紗加・大石和佳奈・谷口透子一田波雛子
 (本塁打) 田波雛子 [指扇]
 (三塁打) 新居葉月 [常盤]
 (二塁打) 石井萌々夏・新居葉月 [常盤]
 (審判) (球) 染谷和良 (一) 高橋徳右エ門
 (二) 高木直樹 (三) 山本一美
 (記録) 杉本長治 (戦評) 本間幸次
 (広報) 松本文夫
 常盤、姫島の好投と毎回得点で10点を上げ完勝。指扇は初回田波の本塁打で1点還したのみ。

[第3試合] 沼影ソフトボール少年団 1勝

常盤スポーツ少年団	1 0 1 0 0	2
沼影ソフトボール少年団	0 0 0 0 3	3

(常盤) 姫島 響一石井萌々夏
 (沼影) 三須春花一中澤玲香
 (本塁打) 中澤玲香・三須春花 [沼影]
 (審判) (球) 吉村大菊 (一) 染谷和良
 (二) 上平晃士 (三) 山田啓二
 (記録・戦評) 本間幸次 (広報) 松本文夫
 沼影、4回まで姫島投手の前に2安打と抑えられていたが5回二死より中澤の同点2点本塁打、三須の逆転本塁打で劇的なサヨナラ勝ち。



【優勝の指扇ライオンズ女子】

指扇ライオンズ女子・川村秀明監督
 ◎3チーム1勝1敗で抽選勝ちのため、コメントのしようがありません。3チームの全員にありがとうと言いたいです。

市民体育大会最優秀選手

種別名	チーム名	選手名
男子1部	新曲輪クレインズ	阿部 隼輔
男子2部	岩 小 ク ラ ブ	横井 時彦
男子3部	バ ト ラ ー ズ	石井 達
壮年の部	高砂小PTAソフト	柳沢 孝之
実年の部	さいたまクラブ	山崎二三夫
シニアの部	浦 和 S G	大山 昭治
ハシニアの部	さいたま65	大戸 和憲
レディースの部	Team all	小林波奈子
中学女子	植竹中学校	大沢 真琴
小学男子	太陽フェニックス	萩原 怜仁
小学女子	指扇ライオンズ女子	田波 雛子

全国・関東・県大会成績
 【主な成績抜粋】

- 【全国大会結果】
 ◎全日本シニアソフトボール大会
 (9月・香川県丸亀市)
 浦和 S G ベスト8
 ◎全日本壮年ソフトボール大会
 (9月・熊本県熊本市)
 URAWA S.B.C 1回戦
 ◎全日本総合男子ソフト選手権大会
 (9月・長野県伊那市)
 埼玉県庁クラブ 1回戦
 ◎春季全日本小学生(男子)大会
 (25年3月・佐賀県嬉野市)
 太陽フェニックス 1回戦
 【関東大会結果】
 ◎関東ジョイフルソフト大会
 (9月・東京都江戸川区)
 シルバーウイング Aブロック4位
 ◎関東エルディストソフトボール大会
 (10月・山梨県中央市)
 シルバーウイング 準優勝
 ◎ミズノオープン東日本・北海道大会
 (10月・岩手県花巻市)
 土合小PTAソフト 2回戦
 ◎関東中学生選抜ソフトボール大会
 (25年3月・群馬県伊勢崎市)
 春里中学校 準優勝
 【埼玉県大会結果】優勝チームのみ
 ◎土屋会長旗争奪[男子大会]
 (9月・白岡町)
 土合小PTAソフト 優勝
 ◎土屋会長旗争奪[シニア大会]
 (9月・草加市)
 浦和 S G 優勝
 ◎県民総体中学生女子の部
 (9月・さいたま市)
 春里中学校 優勝
 ◎春季全日本小学生(男子)大会
 (11月・坂戸市)
 太陽フェニックス 優勝
 ◎埼玉県総合選手権大会
 (11月・深谷市)
 埼玉県庁クラブ 優勝

リレー各専門委員会訪問 【記録委員会】

1) 平成24年12月26日に、岩槻駅東口コミセンでの「第3種公式記録員認定講習会」を訪問した。中央支部主管で受講者15名(さいたま市7名)が熱心にノートを取り、公式記録法の基礎を学んだ。皆さん良く記録について理解されていたので、受講者全員に認定書が授与された。

2) 平成25年2月24日同じく岩槻駅東口コミセンで「平成24年度埼玉県記録員伝達講習会」が行われた。参加者は全体で134名、中央支部からは9名が参加した。

平成25年度の主なルール改正について

イ. 故意四球(記号・IB)を新設

守備側チームが、投球せずに故意に打者を一塁に歩かせるため、投手、捕手あるいは監督が、球審にその旨通告する。

ロ. 得点差コールドゲームの内容修正

3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。但しこのルールの適用は大会要項が優先する。(県大会は不採用)

【市ソ協記録委員会の現況】

○24年度の活動は、市ソ協大会準決勝・決勝戦に、延べ46名参加。県大会・関東大会・日本女子リーグに派遣延べ59名。

なお主管の県大会98試合は、他支部より派遣あり。同様県記録委員会の要請で他支部、他県への派遣もあり。

○記録員は高齢者が多く、出席者はいつも同じなので、試合が重複した時は、市ソ協大会に他支部の記録員にも応援要請することがある。支部主管の県大会は、中央支部記録委員会が主導し当番責任は果している。

○2年、3年後は記録員の自然減が想定できる、新規の記録員育成を急務としたい。

◇◇チーム・人物紹介(11)◇◇

『原山小PTAソフトボール部』

チーム代表者 石原 俊 介

創部は昭和45年、往年の名選手が今もシニアあるいはハイシニアで活躍しています。伝統と歴史が私達の誇りで、一方若返りも進んで来ています。昨年秋には一般男子二部と壮年の部で念願の決勝トーナメントに進出、二部では三位となりました。

私の入部は平成16年、そろそろ次世代へバトンタッチをせねば…というタイミングでした。最年少部員となった私は当時39歳。会社ならベテランの年齢ですが、久々の新入部員として暖かく迎えられ、そこからチームの立て直しが始まりました。

まずは、もっと若い世代を呼び込まねば！学校に呼びかけ、先生父兄参加のソフトボール大会を開催。少年野球のコーチにもなり同僚コーチを勧誘。すると、ぼつぼつと若手も増えて来ました。古めかしいデザインだったユニフォームをリニューアル。

それを着て小学校の運動会、父兄の種目に参加、部の団結力を運動会に来ているお父さん達にアピール、真面目に楽しく新入部員の勧誘に当たっています。

チームのモットーは、明るく楽しく仲良く。30代から70代まで体力に合わせてソフトボールを楽しんでいます。どちらかと言うと勝ち負けは二の次、たださえ希薄な地域のコミュニケーションがソフトボールを通じて豊かになることが一番重要と考えています。

今後は背伸びせず、コツコツと練習・経験を重ね、原山らしいチームカラーを作り、相手に恐れられるようなチームにしたいと思っています。少年野球の教え子達が入部してくれば手っ取り早いのですが、それまでは老骨に鞭打ってがんばります！！

「関東エルディスト大会」 に参加して

チーム代表者兼監督 大塚 妙子

平成24年10月13・14日、山梨県中央市で開催の「第16回関東エルディスト大会」に県代表『シルバーウイング』が参加。さいたま市としては久々の出場です。

1日目の第一試合は千葉の「なのはな〜ず」と対戦、勝利を手の中に納めたと思いきや、連打で逆転を許したが全員で奮起し、高橋さん、醍醐さんが塁を埋め、眞嶋さんの本塁打でサヨナラ勝ちとなりました。



〔準優勝のシルバーウイング〕

初めての試合なので毎回のように出塁しても得点に結びつかない時もありましたが、やっと自分達のペースでの試合運びとなり勝利しました。第二試合は地元の「ワンダフル山梨」で、守備で眞嶋さんがランナーと交錯して負傷したが、痛みをこらえながらも見事にヒットを打ち、守備でも頑張り全員一致団結し勝つことが出来ました。

2日目になると前日二試合の疲れもあり、身体が思うように動かない人が続出・・・

決勝戦の相手は神奈川の「やまゆり」。若手が多い選抜チームで、全員がロングヒッターなのであつという間に点を重ねられてしまい、残念ながら大敗してしまいました。楽しく試合が出来て、全員が協力し無欲で戦い良い思い出になる2日間でした。

24年度はチーム名の如く、シルバー(銀賞)で終わりましたが、今度はゴールド(金賞)を目指したいと思っています。

ミスノオープン男子ソフトボール 東北・北海道大会に参加して

土合小PTAソフトボール

プレーキャプテン 松尾 稔

期日 平成24年10月20日(土)~21日(日)

会場 花巻市 石鳥谷ふれあい運動公園

10月20日大会当日に向けて、我がチームは前日の19日に前乗りし準備を整え気持ちを昂らせていた。早めの起床、気温は4℃ととても肌寒く、雲一つ無く、身も心も引き締まる気持ちの良い朝、徐々にモチベーションを上げて行く。会場に着くと、第一試合のチームがアップをしていた。

開会式が始まり関東代表チームとして「土合小PTAソフトボール」(以下TPS)は一番最後に呼ばれ、被災地復興を祈願し、堂々と行進し整列をした。

開会式を終え、いつも通りアップを始め、身体と精神を徐々に試合へと集中させていった。対戦相手は岩手代表「福岡ソフトボールクラブ」守備練習を見ていると、さすが岩手代表チーム、緊張無くそつなくこなしている様に見受けられる。ますます気持ちが高揚する。TPSの持ち味は守備と自負している。守備練習ではレベルの高い気持ちで臨み相手に印象を付けられたと思う。

去年の関東一般男子大会では出来なかったいつも通りの心構えでの試合への入り方が、今回はすんなり出来たかと思う。

相手投手は速球派、なかなか得点を奪えないので必至、けれどもTPSのエースである古指も負けていない。少々四球があったが2回に打たれた安打のみだった。

序盤お互い点を取りあい、中盤はゼロを重ね、終盤自慢の上位打線で試合を決定付ける追加点をもぎ取り、辛くも3対1で逃げ切った息詰まる試合だった。

2試合目は去年の優勝チーム北海道代表の「強人群」いつかは当る相手、波に乗る前に叩きたい試合が始まりTPSの攻撃、武器であるバント攻撃が全て相手チーム投手に封殺、守りでは相手投手に本塁打と彼一人にやられた感が大きかった。結果6対2で完敗。2日目も埼玉旋風を巻き起こしたかった。

今大会の「ミスノオープン男子ソフトボール東北・北海道大会」では、得るものが多かった。様々な方の支援が有り、大きな大会へ参加でき、ありがとうございました。

この恩は、さいたま市の大会を通じて返していければと思います。

【これまでの主な成績】

市大会：男子1部・2回、2部・3回優勝

県大会：H23年・ミスノオープン優勝

H24年・土屋会長旗男子優勝

関東大会：H23年・関東クラブ一般男子

(出場) H24年・ミスノオープン男子

日本ソフトボール協会年度表彰

田中 勉 (副会長) [23年分]
(旧大宮市ソフト協会及び、市ソ協副会長として永年ご尽力され現在にいたる)

埼玉県ソフトボール協会功労賞

[中央支部推薦]

丸田 豊 (審判委員会)
小笠原 新政 (競技委員会)
千葉 典夫 (小学生委員会)
醍醐 真弓 (女子委員会)
清水智衣子 (記録委員会)

[埼玉県審判部推薦]

山内 渉 (審判委員会)

24年度さいたま市体育功労賞

佐々木幸男 (審判委員会)

**県ソ協 功労賞をいただき
記録副委員長 清水智衣子**

子どもの頃運動音痴だった私が、中学生の部活見学で見たソフト部の先輩が格好良く見えたので、ソフトボールを始めました。

その後高校生の時マネージャーをしていて、顧問の先生に記録員の存在を教えるもらい、色々な縁で現在に至りました。

3種・2種・1種と、公式記録員に合格し、結婚後も家事・勤務の都合をつけ市ソ協の大会をはじめ支部予選会・県大会等で記録員として従事し、昨年はインターハイの予選にも携わることができ、大変ラッキーな経験をしました。

今回の賞をいただくことは、一つのことを楽しく一生懸命続けたご褒美と感じ、喜びの気持ちでいっぱいです。

市ソ協では、広報と記録で二つの副委員長職を兼務しています。まわりの先輩は皆シニアクラスの方々ばかりですが、やさしく親切に指導してくれます。若さと強い体で、元気にソフトボールに関わっていきたいと思います。

末永く皆さまよろしくお願ひ致します。

**協会旗・シンボルマーク
応募状況について**

ホームページに上記の件を掲載し応募をお願いしたところ、感謝状を差上げた方2名以外に、下記の方が応募してくださいました。

篠原 広さん (仲町小PTAソフト)
田口秀夫さん、須藤利佳さん、春里中ソフト部、土合中ソフト部。
ご協力ありがとうございます。

審判員・記録員認定会合格者

【第1種公認審判員】 (2名)

重盛 浩・石井 正

【第2種公認審判員】 (5名)

大野 相善・佐藤 史彦・玉谷 隆次
半澤 武夫・久保田敬之

【第3種公認審判員】 (31名)

海老原 威・飯田 剛史・林 光治
松本 善則・寺田 浩之・木下 修司
田中 明生・山崎 崇幸・関口富士孝
高桑 敏弘・松澤 賢二・橋本 健
佐々木 透・川津 美利・下田 浩次
尾見 利昭・境 明生・高田 信夫
須賀 啓臣・齋藤 登・森 一郎
赤松 宏和・山崎 康典・小田原 淳
中林 宏之・小原澤和夫・平賀 清光
鈴木 宏司・井原 進一・岸 将喜
深瀬龍太郎

【第3種公式記録員】 (7名)

姫島 千絵・芹澤 良和・庵 道子
望月 直樹・安達 亮一・栗村 利昭
吉田 豊

編集後記

◎ 各チームの皆様にはお忙しいところ「平成24年度評議員会」「創立10周年記念式典」とご参加賜り誠に有り難うございました、重ねてお礼申し上げます。

顧みますとこの10年、いろいろありました。3市合併の難しさも経験しました。試合会場での暴言などトラブルもありました。運営面ではチーム登録を一人2種目から種目別無制限とたくさん楽しんで頂くよう改正しました。その結果、試合数1,000試合、約300チーム、登録者数約6,200人、年間予算約900万円と大所帯となりました。しかしながら、100人足らずの審判でやりくりし、また日程も雨天順延や県大等との調整、試合グラウンドの確保等、役員一同多忙を極めています。選手の方々の笑顔や、ご苦労さ〜ん！の一言で疲れも吹っ飛んでしまいます。まだまだ改善すべき点もたくさんあると思います。どしどしご意見をお寄せください。

ところで全く話題は変わりますが、NHKの大河ドラマ、『八重の桜』の「会津」と「さいたま市」とは、意外なところで関わりが深くその一端を紹介します。

八重の夫となる新島 襄 (同志社創設)の母とみは、浦和区仲町の米問屋の長女で安中藩の新島民治との間に襄をもうけました。安中藩でコレラが流行、皆逃げ腰となる中でとみは率先垂範しこの看病に頑張ったと言われていました。このように母の姿を見て襄は育ち、英語を勉強し、専門学校そして同志社大学と幾多の困難を乗り越えて念願成就していったわけです。

会津藩祖「保科正之」(2代将軍秀忠の子)は「見性院」(けんしょういん)によっ

て藩主としての心構え、学問、しつけ等全てを養育され、3代将軍家光、4代将軍家綱を補佐し名君としてうたわれました。

この見性院のお墓がさいたま市緑区大牧の清泰寺にあり、会津の多くの人がお墓参りをしています。この縁で大牧の人が会津を訪問するなど今でも交流があるそうです。なお、見性院は武田信玄の娘です。是非お墓参りなどをしてみてはどうですか。

会津が生んだ大政治家「伊東正義」(飯盛山で自刃した伊東梯次郎は一族)は、大平首相の死去を受けて首相になって欲しいと周りから言われましたが、これを断ったことで有名になりました。成りたくてなれなかった者は多数いるが、断ったのは後にも先にも伊東正義だけであります。旧制浦和高等学校(埼玉大学)、東京帝国大学(東京大学)と進み、学生時代はさいたま市で育ち、友人も市内に多数いるそうです。その名のおり正義感に溢れているが、優しさと暖かみがあったのは、「会津の汁(じゅう)の掟」と「埼玉の麗らかな気候気質」が生んだものと言えるでしょう。

会津を含め、東北地方の大震災の影響は甚大です。今、私たちはソフトボールが出来ることに感謝し、少しでもいい、長く「継続は絆なり」の精神で支援していきたいものです。

(広報担当副会長・永田喜雄)

◎ 市ソ協創立10周年記念式典が挙行されました。各部門でコツコツと協会運営に尽力された功労賞の方々、記念に合わせ制定された協会旗、シンボルマークをデザインされたの方々、この日に向かい1年前より手さぐりで企画・設営・運営し、見事手分けし、手作りで会史に残るイベントを成功させた全役員の方々、ご苦労様でした。

会員6,200人一丸となった底力を見ました。来賓の方々をはじめ参会者の賞賛の声が11年目への励まし力となりました。老いに負けずブーッと楽しく元気で頑張らしましょう。

(広報委員長・田口秀夫)

◎ 協会も11年目に突入し、第21号を作成しました。手探り状態の創刊号から、読んでもらえる広報誌になるよう、試行錯誤した結果現在のスタイルになりました。

まだ満足はしていませんが、少しは進歩したかな?と自負しています。今回も入力は信田編集委員が協力してくれました。毎度申し上げますが、いつまでもは出来ないでバトンタッチよろしくお願ひします。

(広報担当副理事長・榎本靖二)

**さいたま市ソフトボール協会
事務局**

さいたま市見沼区小深作485-1
眞嶋久美子 方(〒337-0005)

[広報誌編集委員会]

永田 喜雄・田口 秀夫・榎本 靖二
山内 渉・岡田 貢・信田 正行
斉藤 豊・松本 文夫・友光 節夫
神長伊佐男・清水智衣子・大塚 妙子